

もくじ

安全上のご注意	2～3
取付・設置上のお願い	3
工事区分	4
各部の名称	4
付属部品の確認	5
設置前の準備と確認	6
取付・設置手順	
1. 吊戸棚の取り付け	7～10
2. 天井幕板の取り付け	11
3. ワークユニットの取り付け	
(1) 給水・給湯・排水・ガス配管・電気配線・排気口の確認	11
(2) 事前準備	11
(3) ベースキャビネットの取り付け	12
(4) ワークトップの取り付け	13
(5) 排水ストレーナーの取り付け	14
(6) 底板点検口フタの取り付け（スライドタイプのみ）	14
(7) 排水管の接続	15
4. 機器類の設置・ガス・給排水・電気工事	16
5. 部品の取り付け	17～18
(1) バックガードカバーの取り付け	17
(2) 防熱板SBB-600（別売）の取り付け	17
(3) 引出しの取り付け・取り外し	17
(4) 引出し前板と引出しの固定	18
(5) 扉の取り外し・取り付け方法	18
6. 調整	18～21
仕上げ	22～23
点検	23
完了後の処置	24
残材処理	24

取付・設置をされる方へのお願い

- 取付・設置をされる方の安全と使用者の安全確保のため、この取付・設置説明書をよくお読みになり、安全で正しい設置を行ってください。
- 本説明書はコンパクトキッチンのもので、その他のキャビネットはそれぞれに添付する取付・設置説明書をご覧ください、正しい設置を行ってください。
- この取付・設置説明書に記載されていない方法で設置され、それが原因で故障等を生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 設置完了後、各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。

安全上のご注意

- 取付・設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。
- 表示内容を見逃して誤った設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。



注意

この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

- お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

取付・設置上の注意



警告

製品は水平で平滑な壁面・床面にしっかりと固定する。

製品が倒れてけがをするおそれがあります。



ステンレス製ワークトップやシンクを取り扱うときは必ず保護手袋をする。

切断面にさわると、けがをするおそれがあります。



設置は、建築側の構造を確かめて取付・設置説明書どおりに正しく行う。

製品が倒れたり落下して、けがをするおそれがあります。



製品固定ネジを空転するまで無理に締め込まない。

製品が倒れたり落下して、けがをするおそれがあります。

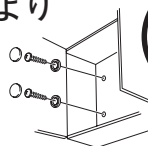


組み込まれる電気機器、換気フード・水栓金具等については、それぞれの取付・設置説明書および製品本体の表示事項を守り、正しく設置する。

製品が倒れてけがをするおそれがあります。



吊戸棚の固定は付属の取付ネジ（コーススレッドφ4.2×65）をワッシャーに通し、背面の穴より壁面に確実に固定し、指定位置以外に固定しない。



製品が倒れたり落下して、けがをするおそれがあります。

電気工事・ガス工事・水道工事は、関連する法令、規定に従って、必ず「有資格者」が行う。



火災・感電・ガス漏れ・水漏れのおそれがあります。



レンジフード横に取付ける場合は火災予防条例に従い、不燃用吊戸棚を設置する。

所轄の消防署に確認してください。離隔距離によっては、火災の原因になるおそれがあります。



注意

取付・設置完了後は扉の傾き、がたつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認する。扉が傾いたり、がたついたりしている時は、丁番のネジをしめなおす。

使用中に扉が落下して、けがをするおそれがあります。



キャビネットに乗らない。



製品が変形したり、落下してけがをするおそれがあります。

安全上のご注意

注 意

棚板を設置するときは棚受を隙間のないように根元まで確実に差込む。



棚板がはずれ、収納物が落下してけがをすることがあります。

取付設置に使われる溶剤、その他薬品類はそれぞれの注意表示に従って正しく使う。



誤った使い方をすると人体に影響が出たり使用部材の損傷や劣化の原因になります。

通水後シンクの中の水滴を拭き取り、封水切れが無い確認する。
引渡しまで日にちがある場合は排水口にフタをする。



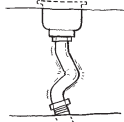
シンク内に水垢付着や浄化槽の塩素ガスなどが上がり、シンク・トップ・丁番など金属がサビるおそれがあります。

排水器具・排水ホースの取付け及び給排水管の接続部分のシールは確実に行う。



水が漏れたり、湿気が上がり床が腐るおそれがあります。臭気が発生したり浄化槽の塩素ガスなどが上がり、シンク・トップ・丁番など金属がサビるおそれがあります。

排水ホースはU字型に曲げたり、折り曲げて取付けない。



排水能力が低下して、シンクから水があふれて、床を汚すおそれがあります。

壁がコンロと接する場合でやむを得ず壁面が可燃物の場合はキッチン本体を壁面から12mm以上離して設置し、別売の防熱板を取り付ける。



火災のおそれがあります。

コンロと接する壁面は、必ず不燃仕上げとする。



火災のおそれがあります。

絶対に分解したり、修理・改造したりしない。



思わぬ事故や故障の原因となります。

コンロの周囲をキッチンパネルで仕上げる場合は、コンロから150mm以上離す。150mm以上離せない場合は、別売の防熱板を取り付ける。



キッチンパネルがコンロの熱で表面が変色したり、こげたり、割れるおそれがあります。

吊戸棚の底面に水切りパイプ棚等を取り付ける際には、それぞれの取付・設置説明書を守り、正しく設置する。



吊戸棚の側板木口及び不燃仕様吊戸棚底板にはネジが効かないため、取り付けた製品が落下して、けがをすることがあります。

取付け・設置上のお願い

お 願 い

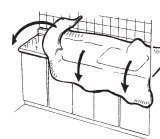
運搬中ぶつけないように注意してください。また運搬は2人以上で行ってください。

製品および周辺設備が破損したり、傷がつき、使用できなくなるおそれがあります。



設置中はワークトップにおおいをし、製品を保護してください。

くぎやネジ類が落ちてきた場合、表面に傷がつくおそれがあります。



清掃する場合は、台所用中性洗剤を使用してください。

その他の洗剤及びベンジン・シンナーなどを使用すると、扉の変色、変質の原因になります。



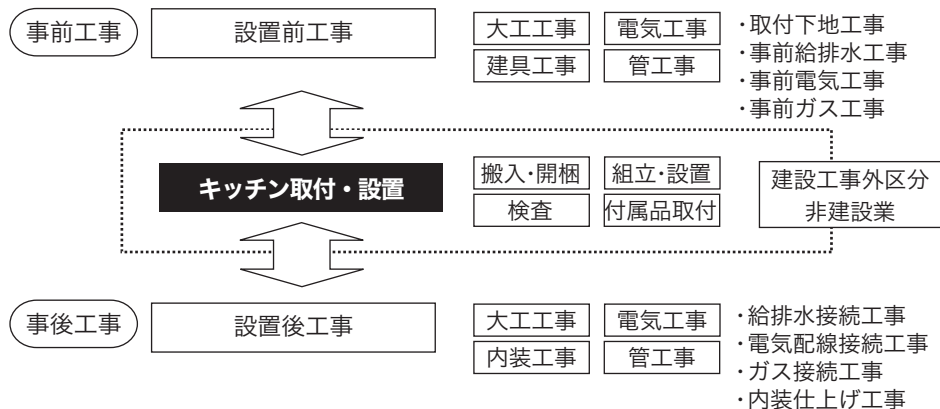
工事区分

警告

◎ 本説明書は、コンパクトキッチンの本体取付・設置と関連工事（建設工事）である大工工事、電気工事、ガス配管工事、管工事（給排水）、建具工事などと区別して説明しています。
建設工事は関連する法令・規定に従って、法的有資格者による工事が必要になります。
流通業者様（販売店様など）からの発注で下請けとして「本体の取付・設置」を行う場合は、建設工事部分と「コンパクトキッチン本体取付・設置」を区別して行ってください。

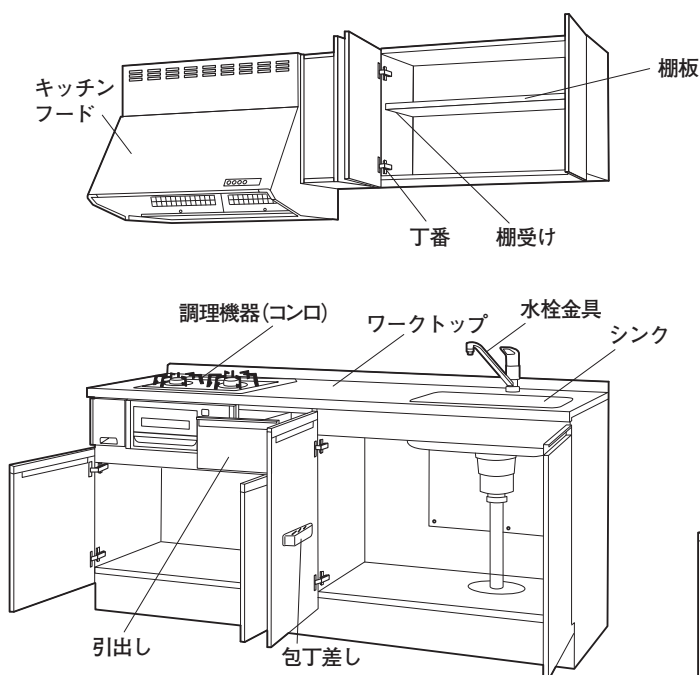


■コンパクトキッチンの取付・設置とユニット工事区分

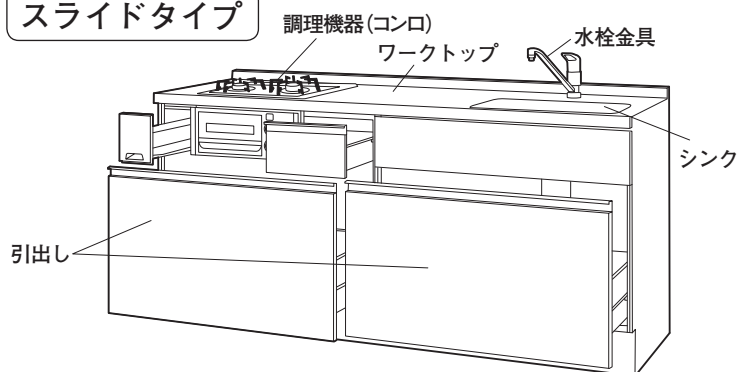


各部の名称

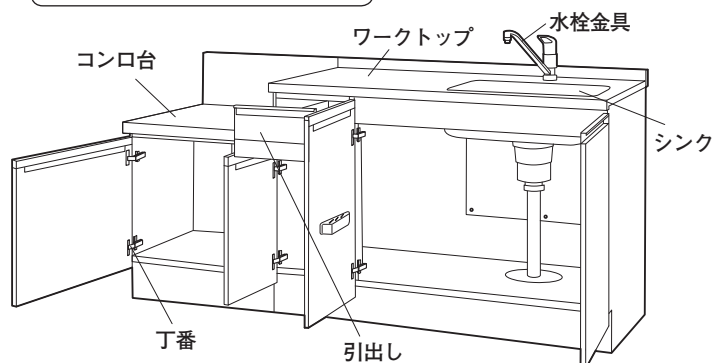
開き扉タイプ



スライドタイプ



テーブルコンロプラン



設置前の準備と確認

<取付・設置に必要な工具>

● プラスドライバー



● 充電ドライバー (電気)



<付属部品>

下記の部品が付属されています。不足品がないことをご確認ください。

吊戸棚

付属部品名	仕様	間口 (cm)		
		30,45,60,75	90	105,120
取付ねじ	コーススレッドφ4.2×65	4本	5本	6本
化粧キャップ	色相:白	8個	9個	10個
連結ワッシャー	金属	8個	9個	10個
キャビネット連結ねじ	コーススレッドφ3.8×28	4本	4本	4本

ワークユニット

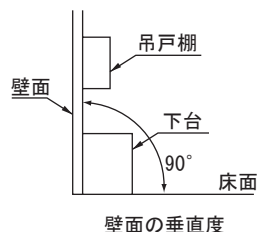
付属部品名	仕様	ワークトップ 一体キャビネット		テーブルコン口用 シンクキャビネット	ワークトップ 別体キャビネット	
		開き扉	スライド	開き扉	開き扉	スライド
	ステンレス	120～180cm	120cmのみ	90～120cm	150～210cm	135～210cm
		ESK-D	ESK-H120	ESK-DN	ESN-D	ESB-H、ESN-H
	人造大理石	120cmのみ	120cmのみ	—	135～210cm	135～210cm
ENK-D120		ENK-H120	EDB-D、EDN-D		EDB-H、EDN-H	
ストレーナー（開き扉用）	開き扉タイプ用	ワークトップに取付けられています			1個	—
ストレーナー（スライド用）	スライドタイプ用				—	1個
エルボ管（長さ100mm）	スライドタイプ用				—	1個
三角パッキン					1個	1個
ポリパッキン					1個	1個
手締めナット					1個	1個
取扱説明書		1部	1部	1部	1部	1部
取付・設置説明書		1部	1部	1部	1部	1部
サービス網一覧		1部	1部	1部	1部	1部
グロメット	色相:黒	1個	—	—	1個	—
シーリングプレート	φ180-φ50穴	1個	—	1個	1個	—
	φ70-φ25穴	—	1個	—	—	1個
スペーサー（レベル調整用）	MDF	10個	10個	10個	10個	10個
キャビネット連結ねじ	コーススレッドφ3.8×28	—	—	4本	4本	4本
ワークトップ固定ねじ	皿木ねじφ3.1×13	—	—	—	4本	4本
	トラスタッピンφ3.5×10	1本	1本	1本	15本	15本
化粧キャップ	色相:白	10個	10個	10個	10個	10個
連結ワッシャー	金属	10個	10個	10個	10個	10個
L金具	25×25	1個	1個	1個	1個	1個
L金具取付ねじ	トラスタッピンφ3.5×16	2本	2本	2本	2本	2本
キャビネット固定ねじ	コーススレッドφ4.2×65	7本	7本	7本	7本	7本
点検口フタ	材質:PP	—	1個	—	—	1個
点検口フタ固定ねじ	トラスタッピンφ3.5×13	—	6本	—	—	6本
引出し金具固定ねじ	トラスタッピンφ3.5×13	—	3本	—	—	3本

設置前の準備と確認（続き）

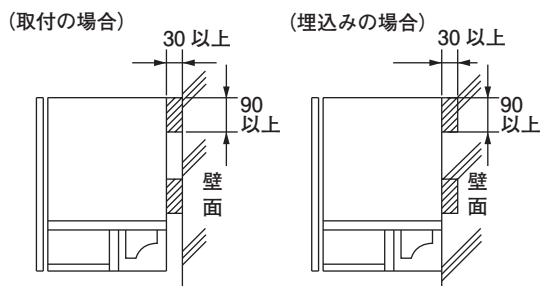
※袖壁コンビパネルの取付・設置については、袖壁コンビパネルプラン取付・設置説明書をご参照ください。

（1）壁面・床面の仕上げの確認

- ・製品搬入前に床面を仕上げておいてください。
- ・床面に対して壁面を垂直に仕上げてください。
- ・壁面コーナー部は直角に仕上げてください。
- ・壁面が床面に対して前方に傾いていると吊戸棚のロック気候が働いて扉が開かなくなります。あらかじめ壁面の吊戸棚設置下部に木（ベニア）を入れて、吊戸を設置した際に扉がロックしないように調整してください。
- ・吊戸棚を設置する壁面に凸凹があると、扉に段違いが生じますので、壁面は必ず平滑に仕上げてください。
- ・床面は製品の荷重に耐えられる強度を確保してください。また、水平で平滑に仕上げてください。
- ・製品を設置する壁面には図に示す位置に固定できる補強桟が強固に固定されていることを確認してください。補強桟は腐れのないものを使用すること。
- ・製品を壁内で設置する場合には、仕上がり面（キッチンパネル・タイル等）で製品寸法+5mm程度は寸法確保してください。
- ・取付位置に補強があることを確認し、ない場合は補強を入れてください。



壁面の垂直度



⚠ 注 意

- 設置する床面の木クズ、ゴミは取り除く。

床面が水平でなかったり異物があると、扉の段違いを生ずるおそれがあります。

- 製品は、平滑な壁面にしっかりと固定する。

製品が倒れてけがをするおそれがあります。
また、扉の段違いや引出しの不ぞろいを生ずるおそれがあります。

（2）扉・棚板・引出の取り外し

- ① 扉・棚板・引出の取り外し方法は⑰～⑱ページを参照してください。

<取付・設置手順>

1. 設置前の準備と確認 ----- P 6

2. 商品の設置手順 ----- P 6～15

3. 機器類の設置・ガス・水道・電気工事 ----- P 16

4. 部品の取外し方法・取付方法 ----- P 17～18

5. 扉・引出しの調整方法 ----- P 18～21

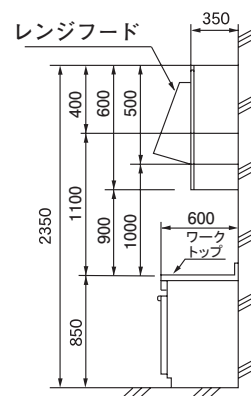
- | | |
|--------|----------------------------------|
| 仕上げ | (1) ワークトップと壁面間のシール ----- P 22～24 |
| | (2) 清掃 |
| | (3) コーキング塗布場所について |
| 点検 | (1) 安全点検 |
| | (2) 組込機器の試運転 |
| 完成後の処置 | (1) 商品の養生について |
| | (2) 取扱説明書の保管・引き渡し方法 |
| 残材処理 | (1) 梱包材その他残材の処置 |

取付・設置手順

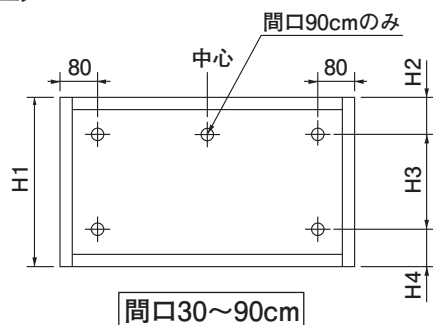
1. 吊戸棚の取り付け

(1) 吊戸棚の取り付け

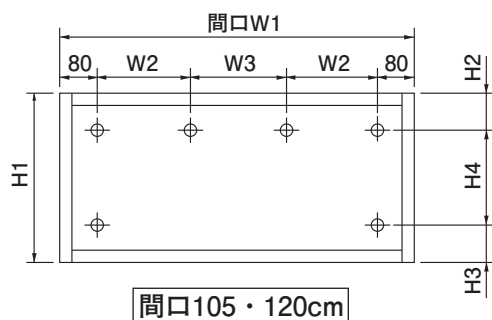
- ①標準的な吊戸棚の取り付け位置は図の通りです。吊戸棚の配置及び取付け位置はコンパクトキッチンの取付設置図面に従ってください。



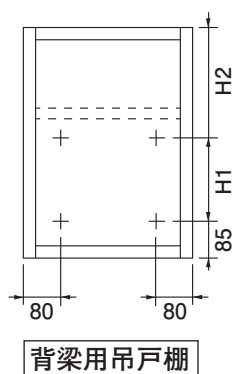
〔壁面固定位置〕



高さ	H1	H2	H3	H4
400	375	60	250	65
500	475	80	310	85
600	575	80	410	85
700	675	80	510	85



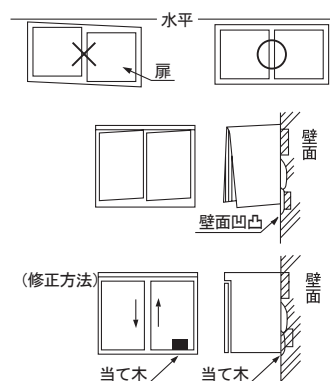
間口W1	W2	W3
1050	300	290
1200	350	340



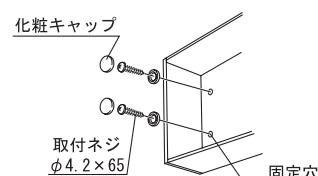
高さ	H1	H2
500	110	280
600	160	330
700	210	380

- ②キッチンパネルがある場合は、キッチンパネルを壁面に取り付けます。キッチンパネルの取付・設置説明書に従って取り付けてください。
- ③吊戸棚の取り付け位置を壁面、または壁面に取り付けてあるキッチンパネルに墨出しをします。

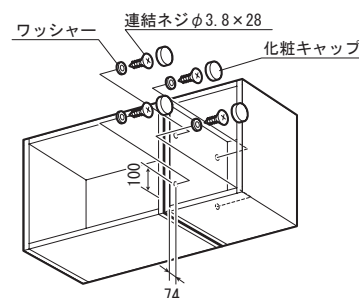
- ④ 吊戸棚を取付ける際は吊戸棚を隅側より取り付けていきます。吊戸棚を取り付ける際は、吊戸が水平垂直になるように取り付けてください。水平に取り付いていないと扉に段違いが生じたり、扉のロック機構が正常に作動しないことがあります。吊戸棚を据付ける壁面に凹凸があると、扉に段違いが生じますので壁面は必ず平滑にしてください。扉の段違いが生じた場合は壁面と吊戸棚の間に当て木（ベニア等）を入れて調整してください。



- ⑤ 吊戸棚の固定は付属の取り付けネジ（コーススレッドφ4.2×65）をワッシャーに通し背面の固定用穴より壁面に確実に固定してください。取り付けネジのワッシャーに化粧キャップを取付けます。



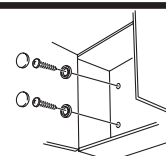
- ⑥ 左右に吊戸棚がある場合は、付属のネジ（コーススレッドφ3.8×28）で必ず連結してください。



警告

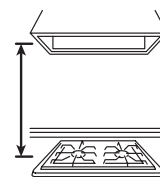
- 吊戸棚の固定は付属の取付ネジ（コーススレッド φ4.2×65）をワッシャーに通し、背面の固定用穴より壁面に確実に固定する。

指定位置以外で固定すると、製品が落下して、けがをするおそれがあります。



- レンジフード横に取り付ける場合は火災予防条例に従い、不燃用吊戸棚を設置する。

所轄の消防署に確認してください。離隔距離によっては消防署の検査に不合格になるばかりでなく、火災の原因になるおそれがあります。



注意

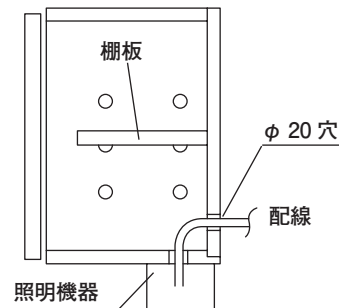
- 製品取り付けの際に取り外した扉、棚板は直接床に置かないでダンボール等で養生した場所に置く。

床や扉、棚板に傷がつくおそれがあります。



(2) 標準タイプ吊戸棚に別売の照明を取り付ける場合（参考例）

- ① 配線をキャビネット内に通す場合は、最下段の棚板より下面の背板に、φ 20 の穴をあけてください。
- ② 照明機器の取付・設置説明書を参考に、吊戸棚底板に配線用穴をあけ、照明機器を取り付けてください。



⚠ 注意

- 配線工事は関連する法令、規定に従って必ず「有資格者」が行う。

接続や固定が不完全な場合は発煙や、火災の原因になります。

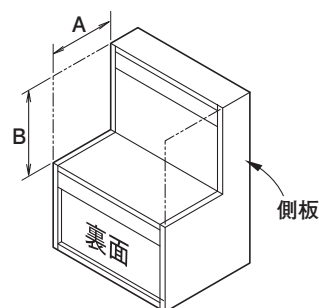


(3) 梁がある場合の取り付け

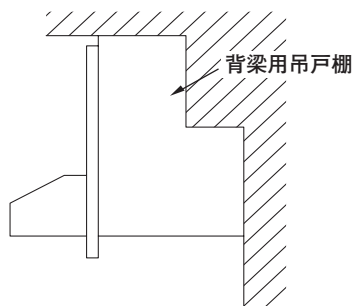
背梁用吊戸棚や梁下塞ぎ板を使用して設置する。

- 背梁用吊戸棚（高さ 500・600・700mm 用）
梁のサイズに合わせて側板をカットする。

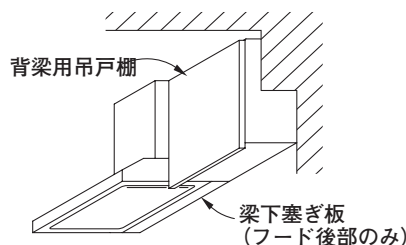
高さ	A	B
500	230	200
600	230	250
700	230	300



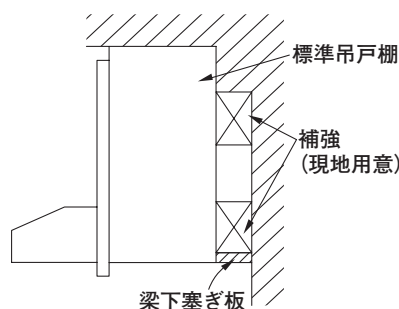
- 梁奥行 150mm までの場合
背梁用吊戸棚で設置する。



- 梁奥行 151 ~ 230mm までの場合
背梁用吊戸棚と梁下塞ぎ板で設置する。



- 梁奥行 231 ~ 300mm までの場合
標準吊戸棚と梁下塞ぎ板で設置する。



⚠ 警告

- 吊戸棚を設置する壁面に補強 (30 × 90) が確実に固定されていることを確認してください。補強材は虫食いや腐れのしない材料を使用してください。

吊戸棚が落下して、けがをする恐れがあります。



(4) コンクリート壁への固定

警告

- コンクリート面への吊戸棚の固定方法は必ず守る。

取り付けに不備があると、吊戸棚が落下し、けがの原因となります。

- コンクリートへの穴あけは必ずφ6mmのコンクリート用ドリル刃を使用する。

穴が大きいと、アンカープラグが抜けて吊戸棚が落下し、けがの原因となります。

- アンカープラグの向きを確認し、正しく取り付ける。

アンカープラグの向きを間違えると、吊戸棚が落下し、けがの原因となります。

＜コンクリート面に直接固定する場合＞

- 標準品には首下65mmのコーススレッドが付属されているので、市販の首下50mmのコーススレッドを別途購入し、付属の首下65mmのコーススレッドと交換して吊戸棚を固定する。

コーススレッドが短いと、吊戸棚が落下し、けがの原因となります。

＜コンクリート面と吊戸棚の間に内装材などが入る場合＞

- 吊戸棚の固定強度は、コンクリート壁に打ち込んだアンカープラグで吊り強度保持するよう内装材の厚みを考慮して、コーススレッドの首下長さを選定し、市販のものを別途購入する。(50mm+ 内装材厚みが目安の首下長さ) 付属の首下65mmのコーススレッドと交換して吊戸棚を固定する。

コーススレッドが短いと、吊戸棚が落下し、けがの原因となります。

＜必要部品＞

- ・ アンカープラグ

推奨：fischer 社製ナイロン系プラグ

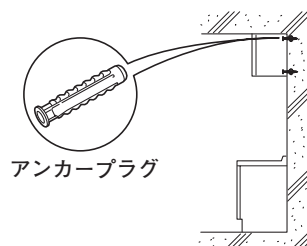
品番：SX6x30 若しくは同等品

- ・ コーススレッド

M4 (4mm) ～ M5 (5mm) 首下長さ：50mm

※ 使用するアンカープラグに合わせて、径・首下長さ (Min.50mm) を選定して下さい。

※ アンカープラグ及び取り付け用コーススレッドは、別途手配して下さい。(同梱されていません。)

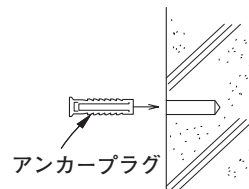
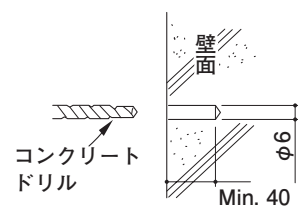


アンカープラグの取り付け方法

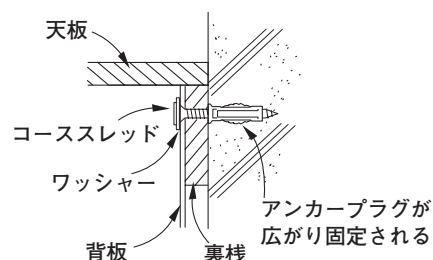
- ① 吊戸棚を所定の位置にセットし、下穴の位置出しを行ってから、コンクリート壁にφ6mmのドリルで下穴をあける。(深さ：Min. 40mm)
- ② アンカープラグをハンマーで軽く叩きながら、下穴に打ち込む。
- ③ 吊戸棚を所定の位置にセットし、市販のコーススレッドを締めつけて、吊戸棚をコンクリート壁に固定する。

※ 上記手順は、推奨のアンカープラグを使用する場合のものです。

同等品を使用する場合は、各々の取り付け手順に則り、取り付けて下さい。

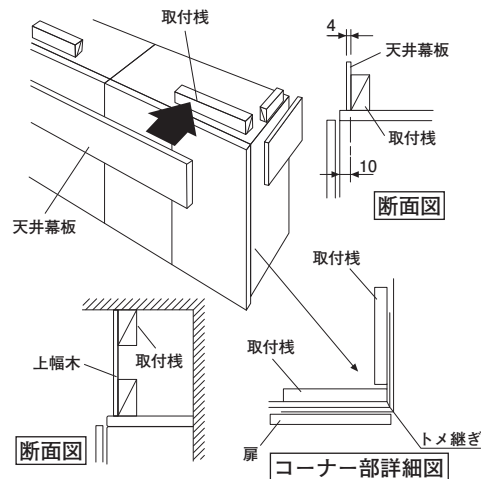


※ コンクリートの表面まで挿入する



2. 天井幕板を取付ける場合（別途手配）

- ・天井幕板はH=300mmで納入されます。
- ・天井幕板を現地にて天井高さ、キッチン間口に合わせカットしてください。
- ・吊戸棚キャビネット前面より10mm下げた位置に取付棧（別途）を取り付け、カットした天井幕板を市販の接着剤（酢ビ系又は変性シリコン系）で取付棧に貼付けしてください。
※接着剤硬化までに時間が必要となりますので必ず両面テープ（現場用意）や隠しくぎ（現場用意）を併用して貼付けしてください。
- ・取付棧を吊戸棚内部より木ねじで固定する場合は必ず下穴をあけてください。
- ・天井高さが高い場合には天井面にも固定棧を取付し確実に貼付けしてください。



天井への取付棧の取付けは、大工工事区分です。

⚠ 警 告

● 天井に取付棧が必要な場合

天井への取付棧の取付は関連する法令、規定に従って必ず「有資格者」が行う。



3. ワークユニットの取り付け

(1) 給水・給湯・排水・ガス配管・電気配線・排気口の確認

給水・給湯・排水口・ガス配管・電気配線・排気口位置は別途取付・設置図を参照して、建て屋工事の段取りに合わせて工事依頼してください。

(2) 事前の準備

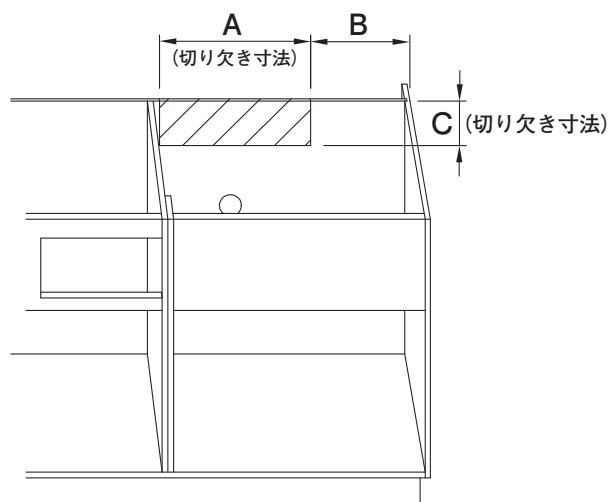
① 背板の切欠き

開き扉タイプベースキャビネット（一体キャビネットのみ）において、IHクッキングヒーター（HT-K6、HT-40A/B、SIHB224C-W）の場合、コンロ裏背板を切り欠いてから設置してください。

(注)切り欠きの際、キャビネットの化粧面に傷を付けない様ご注意ください。また、切り欠き後、切断面は紙やすり等でなめらかに仕上げてください

背板切欠き寸法

IHクッキングヒーター型式	A	B	C
HT-K6	560	170	170
HT-40A	419	165	70
HT-40B	419	165	104
SIHB224C-W	419	165	70

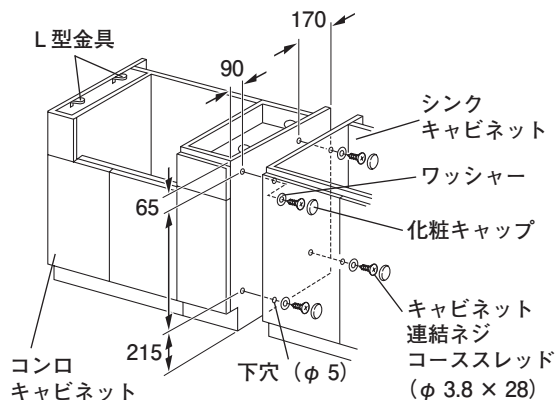


(3) ベースキャビネットの取り付け

- ① キャビネット通しの連結（一体キャビネットは除く）
設置する床面の木くず、ゴミを取り除いてからキャビネットを並べます。

水平器でベースキャビネットの水平を出してキャビネットを並べます。

- ・キャビネットと床の間に付属のスペーサーを使用して水平になるように調整してください。
- ・隣のキャビネットと前面・上面を合わせてクランプで固定して位置を合わせてください。クランプ固定の際はキャビネットに傷が付かないように注意してください。
- ・キャビネットがねじれた状態で設置しないでください。引出しが閉まらなくなります。
- ・ネジを通す側のキャビネット側板に下穴を4ヶ所あけ、キャビネット連結ネジ（コーススレッドφ3.8×28）にワッシャーを通して隣のキャビネットと連結します。連結後ワッシャーに化粧キャップを取り付けます。連結位置は図を参照してください。

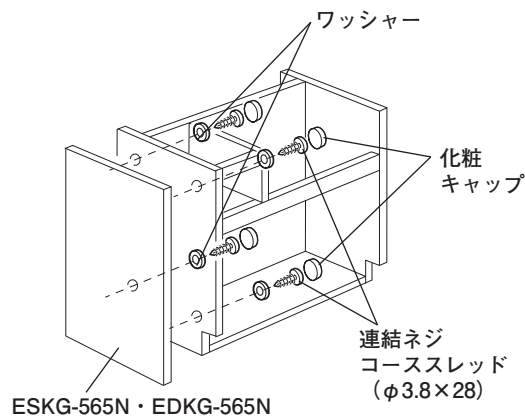
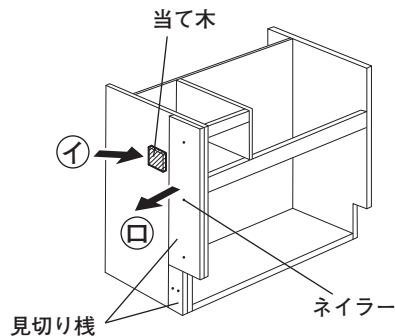


(注) 連結ネジ高さ位置は、周辺部品に干渉しない位置で固定してください。

- ② コンロキャビネット脇用化粧側板（ESKG-565N、EDKG-565N）の取付け

スライドタイプのコンロキャビネットには15mmの見切り桟が取付いています。化粧側板（ESKG-565N、EDKG-565N）を取付ける場合はキャビネットに取付いている見切り桟を外してからキャビネット内部よりネジにて固定します。

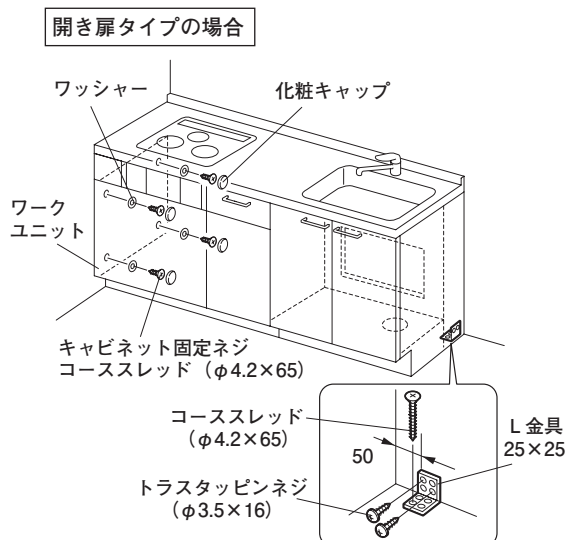
- ① キャビネットに傷が付かないように見切り桟に当て木をしてハンマーで叩き、ネイラーで止めている見切り桟を少し浮かせてください。
- ② 浮いた部分に手を掛けてゆっくりキャビネットから引き離してください。



- ③ ワークユニットの固定
ワークユニットを壁面・床面へ取り付けます。

■開き扉タイプの場合

- ・ワークユニットを所定の位置に設置する前にシンクキャビネット側板にL金具 25×25を取り付けてください。
- ・点検口よりシンクキャビネットを床面に固定してください。
- ・コンロキャビネットの側板に下穴を開け、コーススレッド 4.2×65にて壁面に固定してください。固定位置は壁の芯材位置を確認し、位置決めしてください。



■スライドタイプの場合

- ・コンロキャビネットの側板に下穴を開け、コーススレッド 4.2 × 65にて壁面に固定してください。固定位置は壁の芯材位置を確認し、位置決めしてください。
- ・シンクキャビネット及びコンロキャビネットの背板に下穴 (Φ3.8mm) を開け、取付ネジ (コーススレッドΦ 4.2×65) をワッシャーに通し、背面の固定穴より壁面に確実に固定してください。取付ネジのワッシャーに化粧キャップを取付けます。

(注) キャビネット側面と建築側との間にすき間がある場合は、スペーサーをはさみ、すき間を無くしてから固定してください。すき間があるとキャビネット側面が外れる場合があります。

(注) 間口150～180cmのステンレスワークトップ別体型キャビネットは、キャビネット連結作業後、ワークトップを取付けてから、壁面・床面へ取付けてください。
(⑬ページの (4) ワークトップの取り付けをご参照ください。)

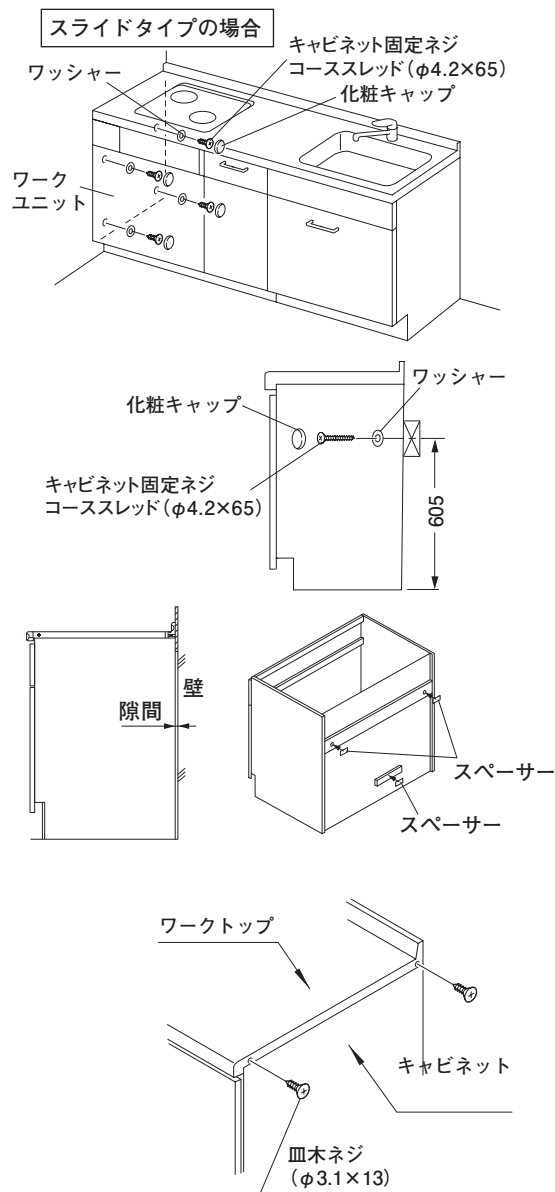
(注) 製品と壁面にすき間が生じる場合は、付属のスペーサー (t2.5MDF) を図の位置に貼ってください。

(4) ワークトップの取り付け

- ・シンク側のワークトップの前垂れ部がキャビネットにのらないように注意して上からかぶせるように設置します。

■ステンレスワークトップの場合

- ・ベースキャビネットにワークトップを設置してください。
- ・間口135cm～180cmの場合は、ワークトップ側面のビス穴に皿木ネジ (Φ3.1×13) で固定してください。(4カ所)
- ・間口195～210cmの場合は、シンクキャビネット側のワークトップ側面のビス穴に皿木ネジ (Φ3.1×13) で固定してください。(2カ所)



⚠ 警告

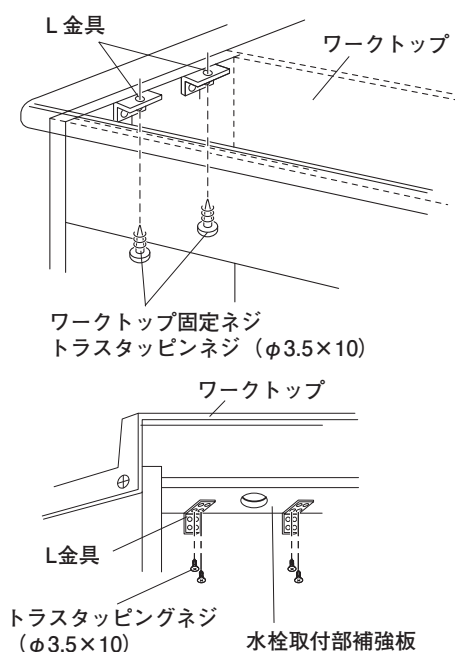
- ステンレス製ワークトップやシンクを取り扱う時は、必ず保護手袋をする。

切断面にさわると、けがをするおそれがあります。



- ・ワークトップをキャビネット側板に取付けてあるL金具のネジ穴よりワークトップに向かってトラスタッピンネジ (Φ3.5×10) で固定してください。(スライドタイプのみ)

- ・ワークトップ取付後、水栓取付部裏面にあるL金具より、水栓取付部補強板に向かって、トラスタッピンネジ (Φ3.5×10) で固定してください。(スライドタイプのみ)



■人造大理石トップの場合

- ・ワークトップをキャビネット側板に取付けてあるL金具のネジ穴よりワークトップに向かってトラスタッピングネジ（Φ3.5×10）で固定してください。

- 開き扉タイプのシンク下収納スペースが867mmのキャビネットは戸当たり前板裏面にあるL金具のネジ穴よりワークトップに向かって、トラスタッピングネジΦ3.5×10で固定してください。

(5) 排水ストレーナーの取り付け

■開き扉タイプの場合

シンク排水口穴に排水ストレーナーを取付け、締め付け工具でロックナットを締め付けてください。
取付け完了後、締め確認済シール（取付・設置説明書付属）を2枚貼りつけてください。

■スライドタイプの場合

シンク排水口穴に排水ストレーナーを、エルボ管が背面になるように取り付け、エルボ管を接続し締め付け工具でロックナットを締め付けてください。

エルボ管を排水ストレーナー本体に接続する時はトラップ本体に底つきするまで差し込んでください。
取付け完了後、締め確認済シール（取付・設置説明書付属）を3枚貼りつけてください。

- (注) ①締め付け工具は製品に含まれていません。別途ご用意ください。

※別売の工具もご用意しております。
型式:NAGASHI-PCSPT145
(定価¥980)



- ②ゴムパッキンはシンク内に位置するように取付けてください。

注意

- シンク締込部各パッキン密着部は、ゴミやホコリなどを確実に取り除く。
ゴミやホコリなどが残っていると、パッキンが密着せずに漏水するおそれがあります。

- シンク締込部各パッキンに「ねじれ」や「はみ出し」がないことを確認する。
「ねじれ」や「はみ出し」があると、漏水するおそれがあります。

(6) 底板点検口フタの取り付け（スライドタイプのみ）

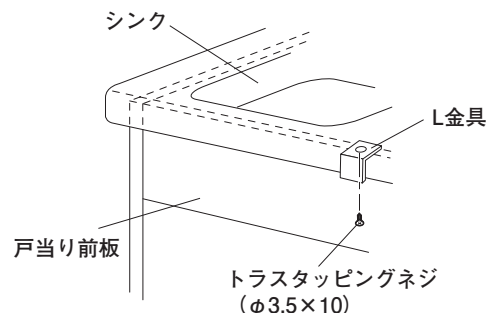
- ・底板点検口フタをシンクキャビネットから取り外します。
- ・給水・給湯・排水管の立上げ位置に合わせて点検口フタに穴を開けてください。穴開け位置はキッチン取付・設置図を参照してください。
- ・給水・給湯・排水管に点検口フタを通してください。
- ・⑮ページ「(7) 排水管の接続」及び水栓金具取付設置説明書に従い、排水管、給水・給湯管の接続を行ってください。
- ・接続後、底板の角穴に点検口フタを設置し、トラスタッピングネジΦ3.5×13で固定してください。



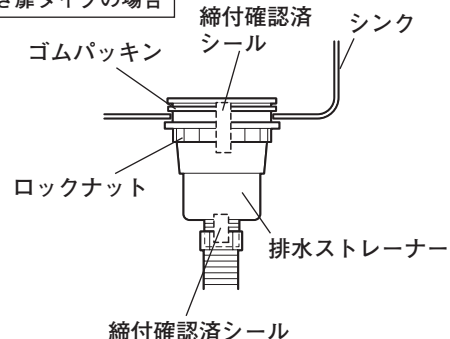
注意

- 固定ネジは必ず指定のネジを使用する。

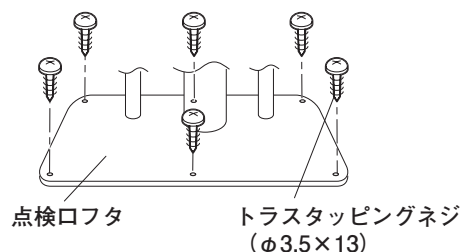
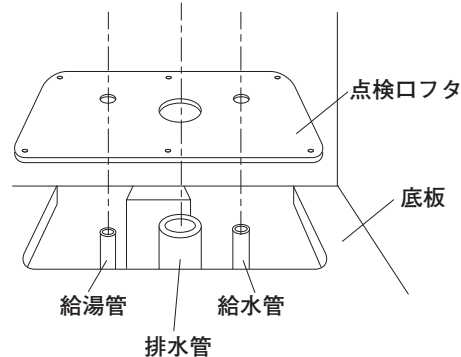
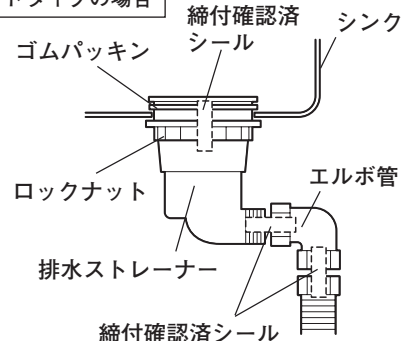
ネジが貫通して、ワークトップにキズ・割れが出ます。



開き扉タイプの場合



スライドタイプの場合



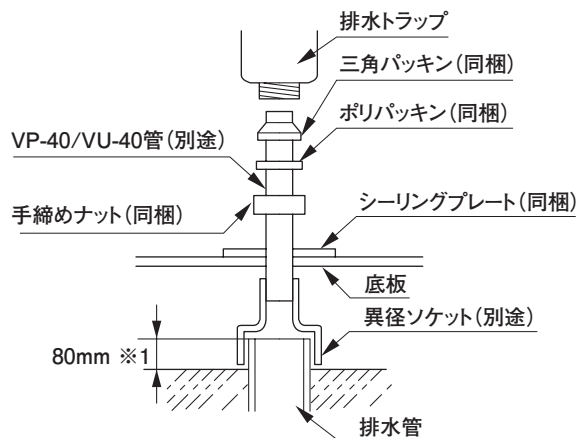
(7) 排水管の接続

(7)ー1 直管接続の場合

排水管はVP-40またはVU-40管の直管接続とし、排水管との接続部は、必ずシリコンコーキングで完全にシールしてください。シールが不完全ですと湯気などにより床を濡らしたり、キャビネット内部に結露が発生する原因になります。また、臭気が発生したり、浄化槽の塩素ガスなどが上がり、シンク・トップ・丁番など金属がサビるおそれがあります。

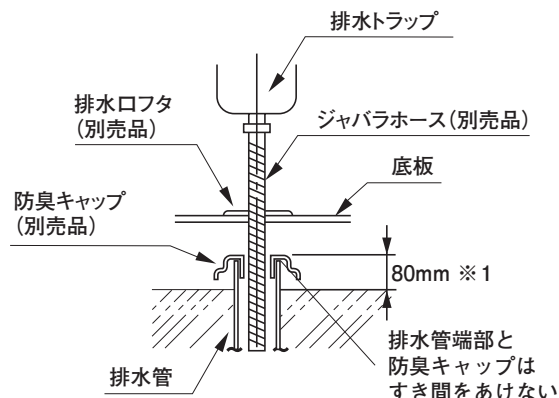
お 願 い

- 間口195cm、210cmの場合、排水管位置はシンク用キャビネットの排水接続用開口の中心にはなりませんので、排水管立上位置を確かめてください。



(7)ー2 ジャバラホース (別売品) 接続の場合

- ① 排水ホースに排水口フタ、防臭キャップを通し、建て屋側に立ち上げられている排水管に挿入してください。ジャバラ排水ホースは適切な長さにカットしてください。排水ホースが長い場合は排水管の立ち上げ寸法に合わせて先端をカットしてください。排水ホースが長いと、ホースの内部に水が残り水の流れが悪くなります。
- ② 排水管に防臭キャップをはめ込みます。防臭キャップは排水管端部と接するまではめ込んでください。
- 排水トラップと排水ホースの取付けの際は、十分に締め付けてください。締め付けが足りないと水漏れの原因になりますのでご注意ください。
- 防臭キャップのはめ込みが不完全だと、湯気などにより床を濡らしたり、キャビネット内部に結露が発生する原因になります。また臭気が発生したり、浄化槽の塩素ガスが上がり、シンク・トップ・丁番など金属がサビるおそれがあります。



※ 1 の立上げ寸法については、製品の高さにより変更してください。
最小で必ず 60mmは確保してください。

⚠ 注 意

- 底板とシーリングプレートの接着は排水管接続完了後、行ってください。
事前にシーリングプレートを底板に接着すると、シーリングプレートの穴と排水管の位置が合わず、排水管接続ができなくなるおそれがあります。



- 排水管の立ち上げ位置は、別途取付・設置図により、位置決めを行う。

接続不良や排水能力の低下により、漏水やシンクから水があふれるおそれがあります。



- 排水管の接続後、水漏れのないことを確認する。

水漏れにより床が腐るおそれがあります。



- 排水ホースは排水管に底付けしない。

排水能力が低下したり、水があふれるおそれがあります。



お 願 い

- 水漏れ確認後は、必ず乾いたやわらかい布で水分をよく吸い取ってください。
水アカやさびの原因になります。



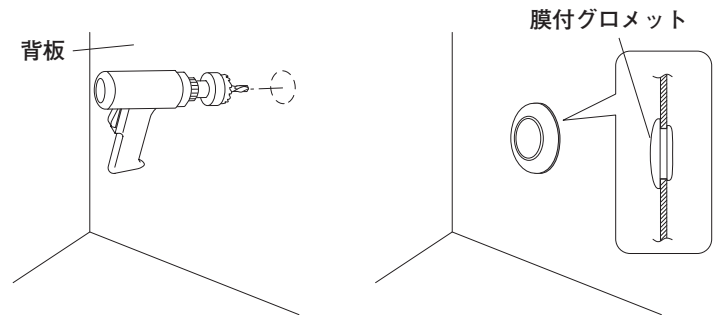
4. 機器類の設置・ガス・給排水・電気工事

- 各機器の設置は、各々の取付・設置説明書に従って設置してください。
- ガス・水道・電気工事については、各工事の「有資格者」が工事を行ってください。

(1) ガス管の取り出し穴開け

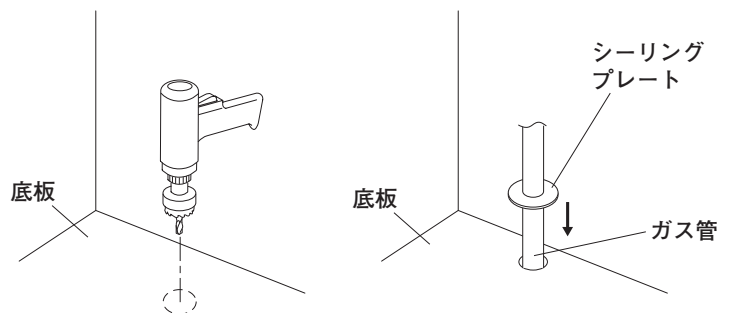
■開き扉タイプの場合

- ① ガス管取付位置に合わせて背板に穴（Φ75）を開けてください。
- ② 穴開けした部分に同梱の膜付グロメットを取り付けてください。



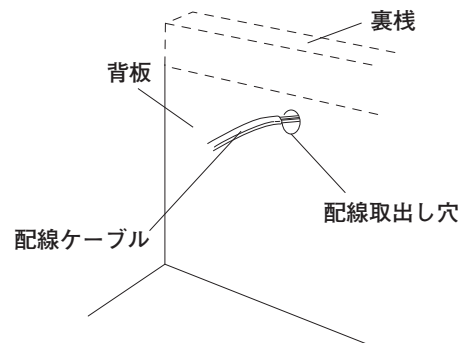
■スライドタイプの場合

- ① ガス管の位置に合わせて底板に穴（φ30程度）を開けてください。
- ② ガス管を引き込み後、ガス管に同梱のシーリングプレートを通し、底板に貼り付けてください。



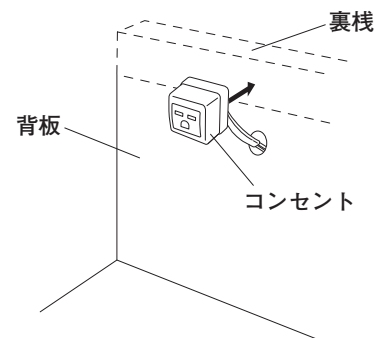
(2) 電気コンロコンセント用穴開け

- ① キッチン取付・設置図を参照してキャビネット背面に配線取出し穴を開けてください。
- ② 穴開けした部分に配線を通し、露出コンセントに接続してください。



- ③ 機器に適合したコンセントを背板に取り付けてください。

(注) コンセントは必ず裏栈がある部分に取り付けてください。裏栈がない部分に取り付けるとコンセントが外れるおそれがあります。



5. 部品の取り付け

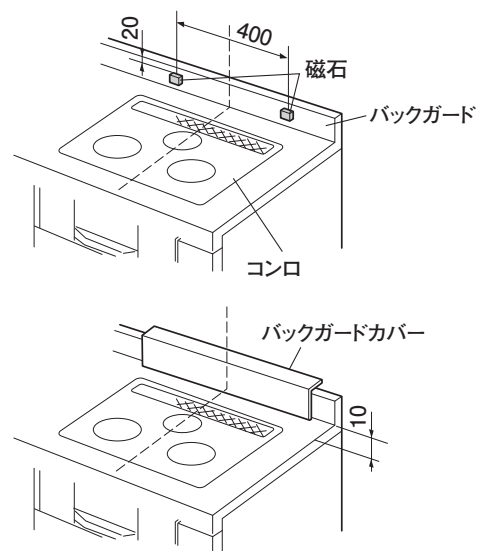
(1) バックガードカバーBGC-02（別売）の取り付け

※人造大理石ワークトップのみ

ワークトップのバックガードに、バックガードカバーを取り付けてください。

※人造大理石ワークトップの場合、コンロの種類によりバックガードカバーの取付けが必要です。

- ①右図の位置に付属の磁石を剥離紙をはがして接着してください。（磁石を接着する前に、バックガードの汚れをよく拭き取ってください）
- ②バックガードカバーの中心をコンロの中心に合わせて取り付けてください。ワークトップとバックガードカバー下端は10mmあけてください。



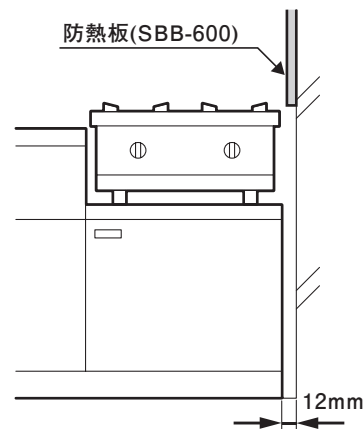
(2) 防熱板SBB-600（別売）の取り付け ※テーブルコンロタイプのみ

防熱板に付属のスペーサー（12mm）をガイドにしてキッチン本体を壁面から12mm離して設置し、防熱板を取り付けてください。キッチン本体設置後は、スペーサーを取り除いてください。

⚠ 注意

- コンロの周囲をキッチンパネルで仕上げる場合は、コンロから150mm以上離す。150mm以上離せない場合は、別売の防熱板を取り付ける。

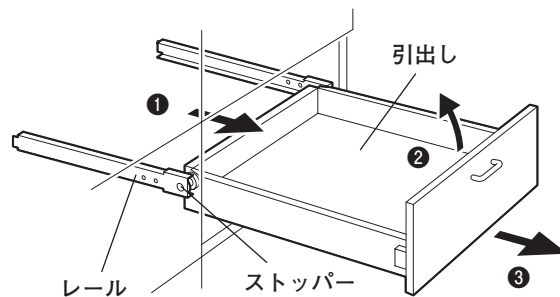
キッチンパネルがコンロの熱で表面が変色したり、こげたり、割れるおそれがあります。



(3) 引き出しの取り付け・取り外し

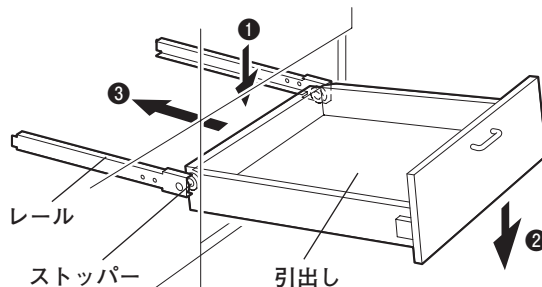
●引き出しの取り外し方法

- ①引き出しを引き出すとローラーがストッパーに当たります。
- ②ストッパーに当たりましたら、引き出しを上を持ち上げます。
- ③引き出しを手前に引き出します。



●引き出しの取り付け方法

- ①引き出しを両手で持ち、ローラーを引出しレールに差し込みます。
ななめ上から落とし込むようにするとうまく入ります。
- ②ストッパーが引出しレール側のローラーを乗り越えたら、引出しを水平にします。
- ③水平に押し込みます。



⚠ 注意

- 取り外す際には引き出し内の収納物をすべて出し、必ず引き出しに両手を添えて取り外す。

引き出しや収納物が落下して、けがをするおそれがあります。



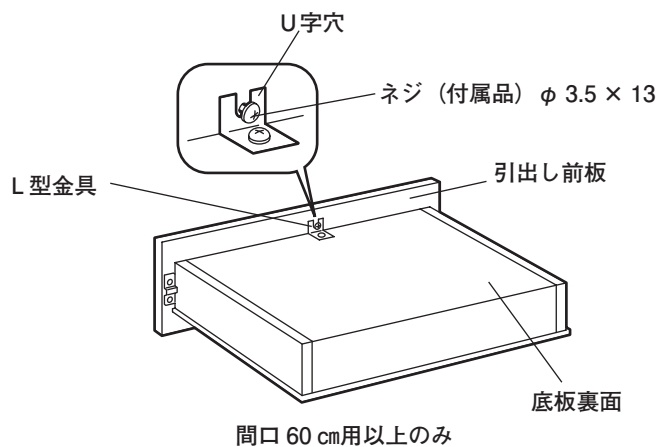
(4) 引出し前板と引出しの固定

引出し前板の調整後に引出し底板に取り付けてある
L型金具を付属ネジにて引出し前板に固定します。

注意

● 必ず固定する。

引出し底板が反って引出しが開閉
しなくなる場合があります。



(5) 扉・丁番の取り外し・取り付け方法

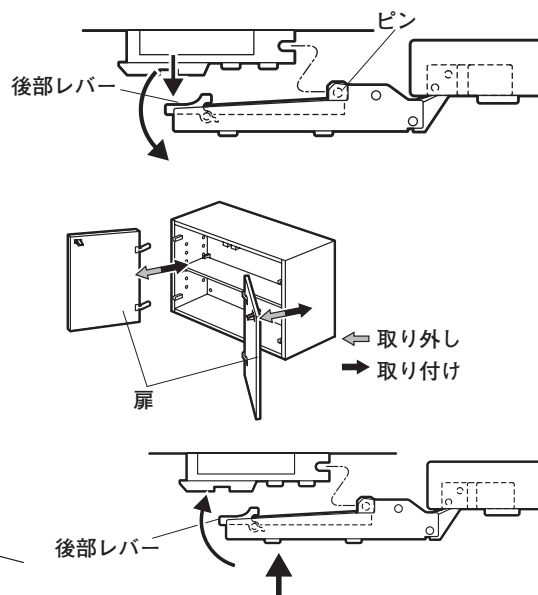
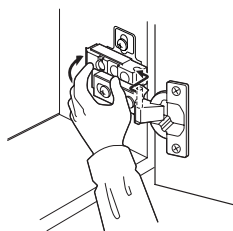
① 扉の取り外し方法

丁番の後部レバーを引くようにし、引き戸棚の扉を
外してください。

② 扉の取り付け方法

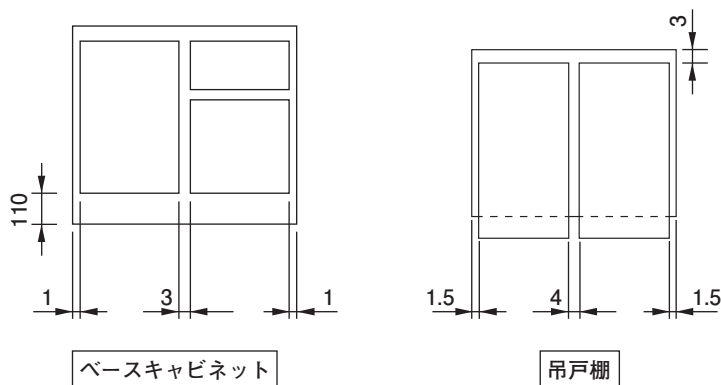
作業終了後、扉を取付けてください。

丁番前のピンを引掛けるようにし、丁番の後部レバー
をカチッと音がするまではめ込んでください。



6. 調整

扉の基準目地寸法は図となります。ロック機構が正常に作動しない恐れがありますので
扉は正しく調整してください。

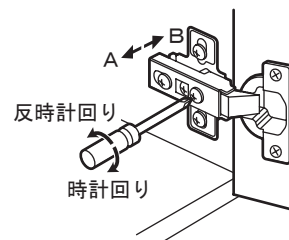
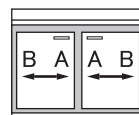
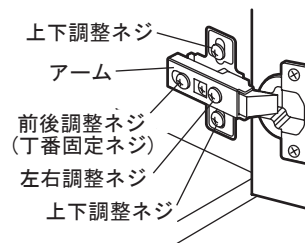


(1) 扉の調整方法

- ① 左右傾きの調整をする場合 (図-1) 左右調整ネジを回すだけで調整が行えます。左右調整ネジを時計回りに回すと扉がB方向に動き、反時計回りに回すと扉がA方向に動きます。ヒンジの左右調整ネジの高さに注意してください。左右調整ネジを右へ回しすぎるとネジが突き出てダンパーが取り付けられなかったり、付けても外れやすくなります。
※調整は必ず±2mmまでとしてください。

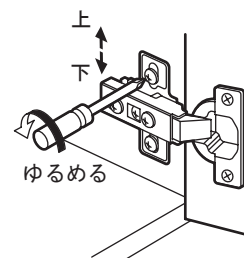
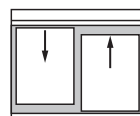
各部の名称

丁番座金形状：
十字形状



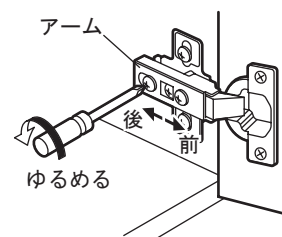
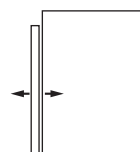
(図-1)

- ② 上下の調整をする場合 (図-2) 上下調整ネジをゆるめます。扉を上下に動かし扉の調整をします。調整後はネジをしっかり締めつけてください。
(丁番座金形状が十字形状の場合は、2ヶ所の上下調整ネジをゆるめて扉を調整してください。)



(図-2)

- ③ 前後の調整をする場合 (図-3) 前後調整ネジをゆるめます。アームを前後に動かし扉の調整をします。調整後はネジをしっかり締めつけてください。



(図-3)

- ④ 丁番が3個以上取り付けられている扉は、上下以外の丁番の上下・前後調整ネジをゆるめて、上・下丁番で調整後、全部の丁番の調整ネジを締め付けてください。

⚠ 注意

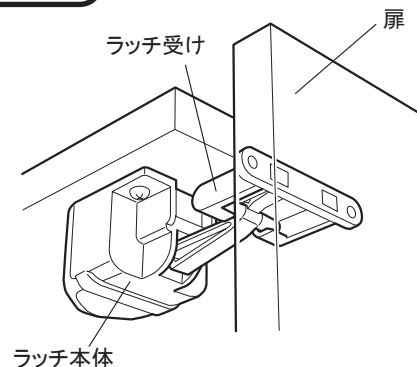
- 取付・設置完了後は、扉の傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認する。
扉が落下して、けがをするおそれがあります。



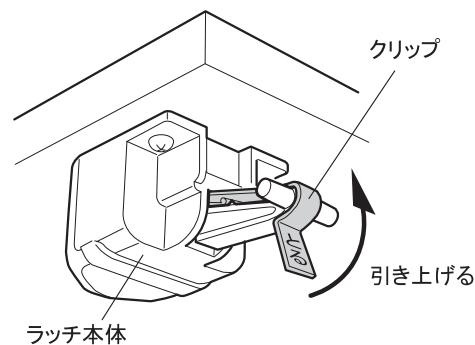
(2) ロック機構について (オプション)

- 製品出荷時には、輸送及び取り付け中のロック防止の為、ラッチ本体に黒色のクリップが取り付けられています。壁面取り付け後に下記の方法にてクリップを取り外してください。
- 吊戸棚が壁面及び床面に対して水平・垂直になっていることを確認してください。水平・垂直に取り付いていないとロック機構が作動し、扉が開かなくなります。
(ラッチ本体が、左右で 1.6° 、前後で 2° 以上傾くとロック機構が働きます。)
- クリップの取り外し方法

各部の名称



キャビネットを壁面取り付け後、クリップ下部のツマミを持ち、手前上方に引き上げるようにして取り外してください。



⚠ 注 意

- クリップを必ず取外す。

取外さないとロック機構が作動しません。



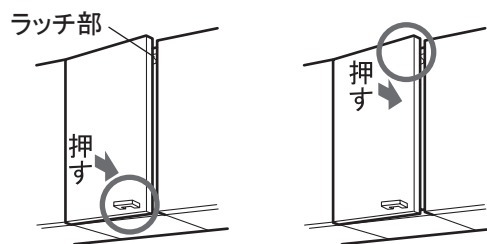
ロック機構の解除方法

ロックが作動し扉が開閉できなくなった場合は、「カチッ」と音がするまで扉の下部または扉の上部を強く押して下さい。

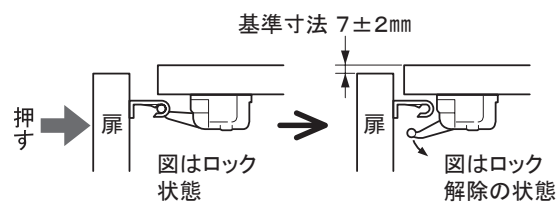
(図 - 1)

※ 解除されない場合は、扉の下にタオルを当て、持ち上げるようにして扉の上部を押し込んでください。

- 地震で躯体（壁や床など）にゆがみが生じている場合は、正常に解除できないおそれがあります。
- 一度解除しても、また開かなくなる場合は、キャビネットが傾いている可能性があります。
設置店へ連絡してキャビネットの水平・垂直を出してください。



(図 - 1)



⚠ 注 意

- ラッチ本体を外したり、分解しない。

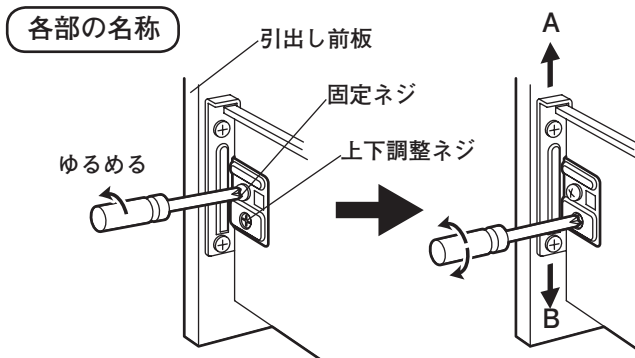
ロック機構が働かなくなったり、扉が開かなくなってしまうことがあります。



(3) 引出し前板の調整方法

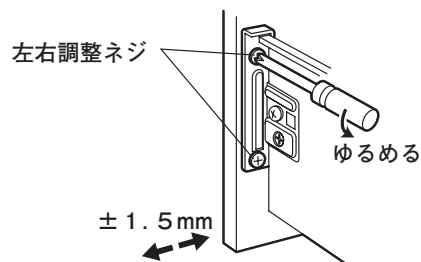
上下調整をする場合

- ① 固定ネジをゆるめます。
 - ② 上下調整ネジを時計回りに回すと引出し前板がB方向に動き、反時計回りに回すと引出し前板がA方向に動きます。
 - ③ 調整後は固定ネジをしっかりと締め付けてください。
- ※上下調整ネジは左右両方の引出しレールについています。



左右調整をする場合

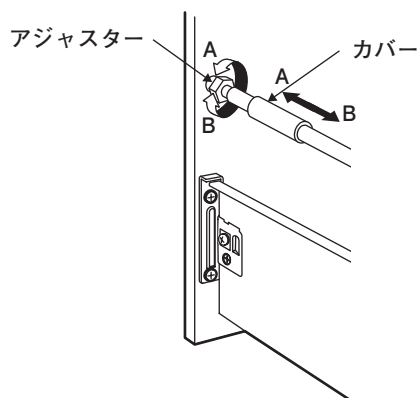
- ① 左右両方の左右調整ネジをゆるめ、前板左右に調整してください。
- ② 調整後は、左右調整ネジをしっかりと締め付けてください。



(4) ギャラリー付引出し前板の調整方法

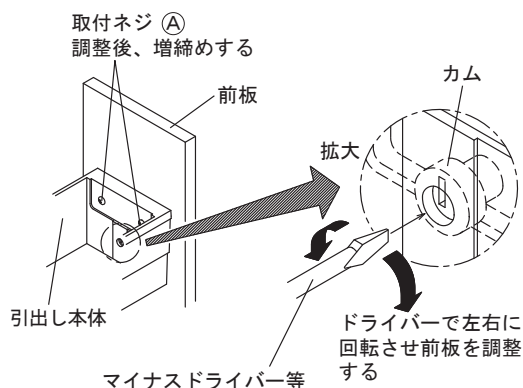
前後調整をする場合

カバーを矢印の方向へずらして、アジャスターを回すと前板を前後に調整できます。
調整終了後、カバーを元の位置に戻してください。



(5) コンロ脇小引出し前板の調整方法

- ① 前板を片手で押さえながら、引出し本体と前板を締めている取付ネジ①（2ヶ所）をゆるめ、前板の上下左右位置や傾きを調整し、ネジを軽く締めめます。
- ② 必要な場合、引出し本体の内側の開口部から見えるカムをマイナスドライバー等で左右に回転させることにより、前後の左右微調整ができます。
- ③ 調整が完了したら、取付ネジ①（2ヶ所）を増締めしてください。



(1) ワークトップと壁面間のシール

- ワークトップと壁面の間は、シリコンシーラー等を使用して完全にシールしてください。
- 壁とワークトップ端面の隙間が4mm以上ある時は、隙間を補填材で埋めた後シールをしてください。

(2) 清掃

- シンク内のゴミや異物を取り除いてください。
- ちょっとした汚れは柔らかい布で軽くふいてください。
- 汚れのひどいときは、中性洗剤をスポンジか柔らかい布に含ませて軽くふいていただいた後、軽く水ぶきしてください。水ぶき後は、必ず乾いた布で水分をふきとってください。
- 保護フィルムの貼ってある扉及び化粧パネル・パーテーション・サイドパネルは、表面・小口面の保護フィルムをはがしてください。

⚠ 注 意

- 固形または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤は、使ったり、近づけたりしない。

水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレス等の金属やゴムの腐食・劣化の原因になります。保管の場所や方法に十分注意してください。その他の洗浄剤・漂白剤は使用上の注意をよく読んでお使いください。



- 硫酸・塩酸系の強酸類や、その他薬品類は絶対に使用しない。

変色・変質・変形・破損等の原因になります。



- 通水後シンクの中の水滴を乾いた布で吸い取り、強く乾拭きをしない。

シンク内に水垢が付着するおそれがあります。



- 封水切れが無いか確認する。

浄化槽の塩素ガス等が逆流し、錆・孔食が発生するおそれがあります。



お 願 い

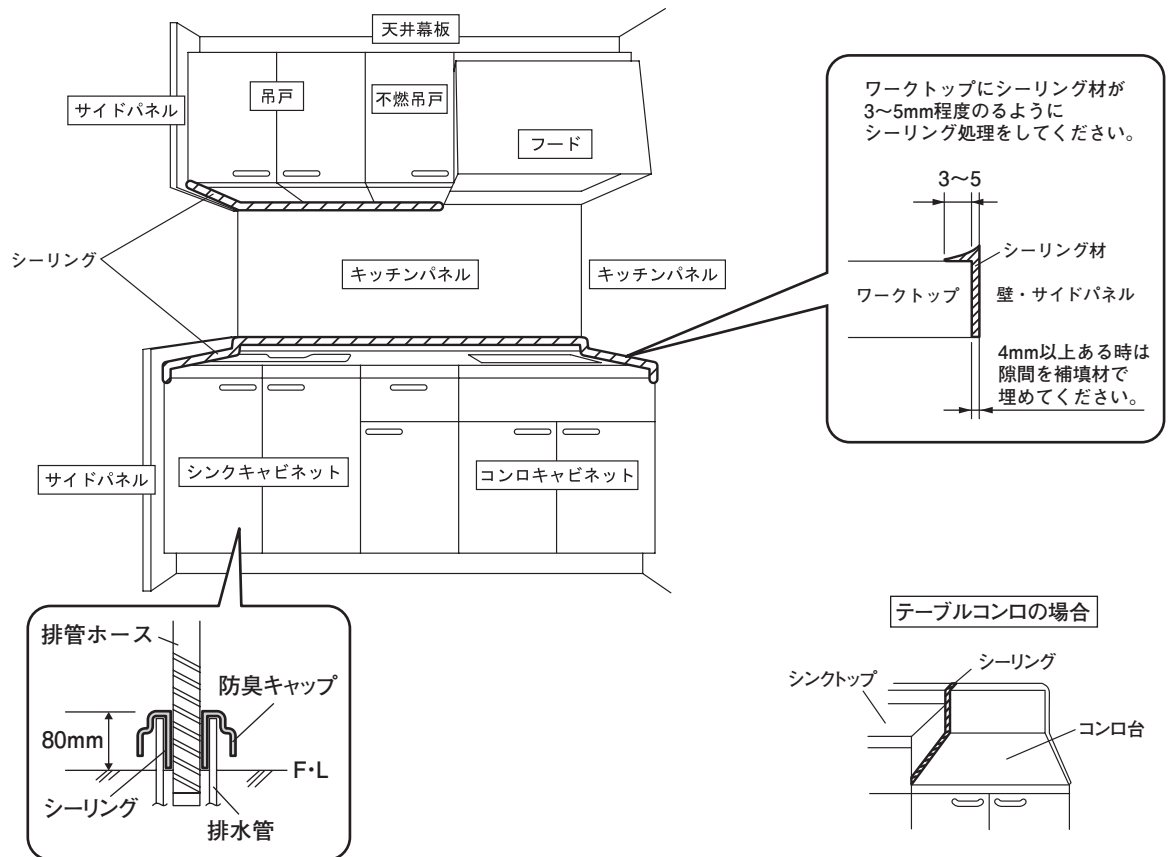
- 清掃をする場合は、台所用中性洗剤を使用してください。

その他の洗剤及びベンジン・シンナーなどを使用すると、扉の変色、変質の原因になります。



(3) シーリング材塗布場所について

下図の斜線部分  は必ずシーリングしてください。



シーリング処理を確実に実施してください。水濡れにより壁・床・キャビネットを痛めるおそれがあります。

点検

(1) 安全点検

設置完了後、必ず各部の点検を行い異常のないことを確かめてください。

〈点検のポイント〉

- (1) ワークトップとキャビネットはしっかり固定されていますか。
- (2) 排水ストレーナーはしっかり取付けられていますか。
- (3) 排水ホースは排水管に押入されていますか。
- (4) 防臭キャップは排水管にしっかりはめ込まれていますか。
- (5) 扉・引出し前板にがたつき・傾きはありますか。
- (6) 棚受けは根元までしっかり押し込んでありますか。
- (7) 扉保護フィルムが貼られている場合にははがしてください。

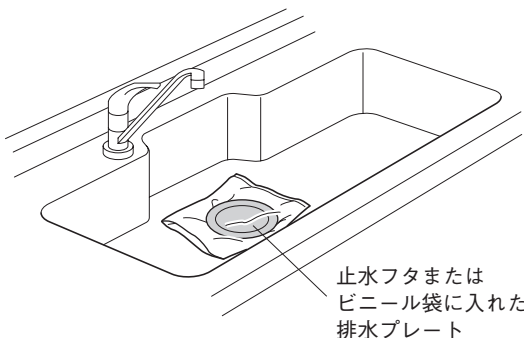
(2) 組込機器の試運転

製品に組み込まれている機器類については、機器に添付されている試運転の方法または操作手順に従って正常に作動することを確認してください。

完了後の処置

(1) 商品の養生について

- ・ 製品および組込機器などは、お引渡しまでの間、キズや汚れがつかないように覆いをしてください。
- ・ 長期間ご使用にならない場合はシンク内の水気をふき取り、封水が切れないように止水フタまたはビニール袋に入れた排水プレートを取付けてください。
封水が切れると排水管から異臭が上がったり、浄化槽の消毒用塩素ガス等でシンクや金属部品がサビるおそれがあります。



(2) 取扱説明書の保管・引渡し方法

- ・ 製品および組込機器等の取扱説明書は、とりまとめて保管し、お引渡しの際、不足のないことを確認してお客様にお渡ししてください。

残材処理

(1) 梱包材その他残材の処置

不要部材を処分する場合は、必ず公的許可を受けている業者に依頼してください。